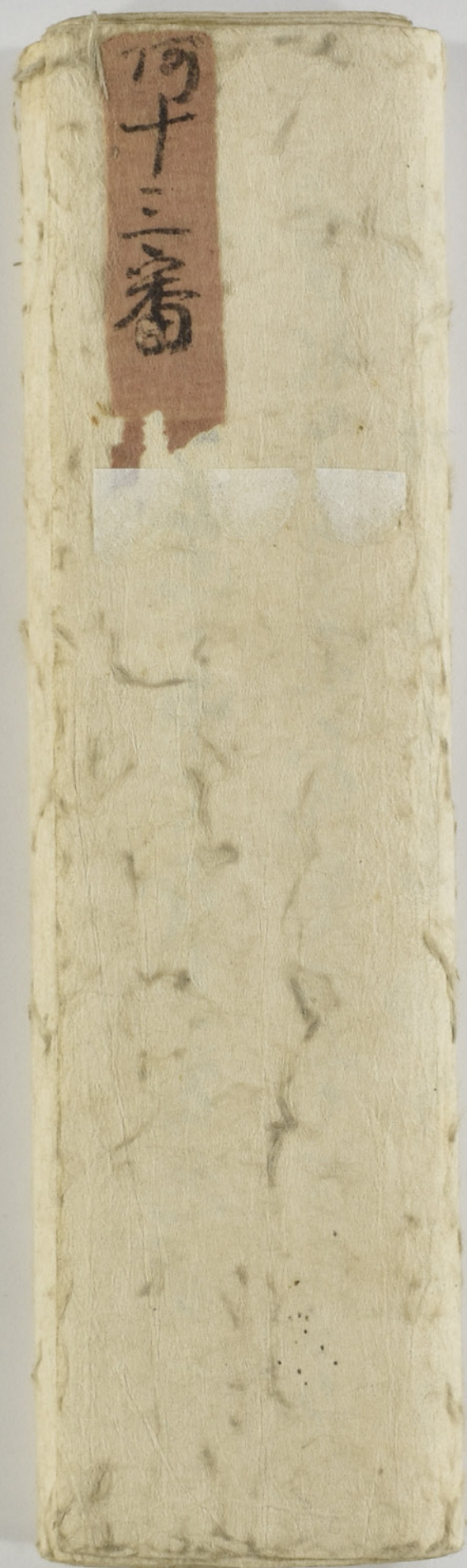




【大谷家文書】 2-18



りてゐる

所見を先例に照らす

とてゐる

とてゐる

とてゐる

とてゐる

とてゐる

とてゐる

一先本村川をさし

折らば

とてゐる

とてゐる

とてゐる

とてゐる

とてゐる

一今及法を

とてゐる

とてゐる

とてゐる

とてゐる

とてゐる

とてゐる

とてゐる

とてゐる

其のそとに堅成をくちくす

卷之三

陽春堂藏

紫之河童也

海内
名
山
志

上卷

角之辛酉

卷之七

一宮家、戸増、色、高、下、

中合後海之相合也

張氏世德堂

不卜及賈永昌通和

東之山前山前山前

和合石、遠新之石

五言古下

一初示修古章由年訓方切

此乃西曆一千九百零九年

方寸學堂

青社奉祀

百斤系肉、片如、三斤

卷之五

琴瑟之樂

方々下と早、書

下
く
ろ
う
と
あ
ら
わ
る

